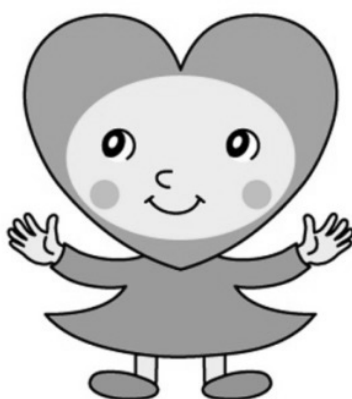


令和4年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集



地域福祉推進のマスコット
のみんなちゃん

社会福祉法人能美市社会福祉協議会

令和4年度 地域福祉・ボランティア・在宅福祉 事業報告集 目次

項 目	ページ
I 市民の参加と協力を得た組織運営	
①理事会・評議員会の開催	3
②第4次能美市地域福祉活動計画の推進（1年目）	3
③会員会費募集	3
④愛の福祉基金	3
II 福祉意識の醸成の働きかけ	
⑤社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動 ・社会福祉大会 ・春まちぽかぽかプロジェクト	4～7
⑥広報誌の発行・ホームページ運営・SNS等による情報発信	7
⑦交流を中心としたふれあい福祉事業 ・聴覚に障がいのある方のつどい「福耳ネット」 ・視覚に障がいのある方のつどい「ぬくもりサロン」 ・ここに寄り添い合う人づくり講座	8
⑧福祉団体や福祉活動グループの活動支援 ・老人クラブ連合会の支援 ・身体障害者福祉協議会の支援 ・母子寡婦福祉連合会の支援 ・民生委員児童委員協議会の支援 ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援 ・のみ社会福祉法人連絡会の支援	8～9
III 地域の支え合い体制づくりの推進	
⑨見守りネットワークの構築	9
⑨-1 地域福祉委員会の活動支援	9～11
⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援	11
⑨-3 いきいきサロン等の活動支援	12
⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援	12
⑨-5 ふれあい弁当の実施	12
⑨-6 子育て応援弁当の実施	13
⑨-7 音訳テープの提供	13
⑨-8 傾聴ボランティアの派遣と活動支援	13
⑨-9 能美市民防災ネットワークの活動支援	13
⑩生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み	14
⑩-1 生活支援コーディネーターの配置	14
⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）	14
⑩-3 フードドライブの実施	14～15
⑪同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援 ・ほっとあんしんサロン ・親子サロンとママ友相談	15

項 目	ページ
⑫ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営	16
⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入《登録グループ一覧》	16～20
⑫-2 ボランティア講座の開催 ・ ジュニアボランティアクラブ ・ 中学生ボランティアチャレンジ体験 ・ 高校生ボランティアチャレンジ体験 ・ 企業ボランティアセミナー	20～21
⑫-3 災害ボランティアセンターの設置・運営	22
⑫-4 能美市民ボランティアフェスティバルの開催	22
⑫-5 ボランティアグループ活動支援（助成金）	23
⑫-6 福祉協力校の活動支援	24
⑫-7 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援	24
⑫-8 ボランティア情報発信	24
⑫-9 ボランティア器材の貸出し＜用品一覧＞	25
⑫-10 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが 窓口となっている収集物について	26
Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営	
⑬高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口	27
Ⅴ くらしサポートセンターのみ の運営	
⑭生活困窮者自立相談支援事業（食糧支援含む）	28
⑮福祉サービス利用援助事業	28
⑯能美市福祉資金	29
⑰石川県生活福祉資金	29
⑱歳末時のお見舞金の贈呈	30
⑲安全・安心のための各種相談	30
⑲-1 心配ごと相談	30
⑲-2 弁護士無料法律相談	30
⑲-3 行政書士無料相談	30
⑳成年後見制度利用促進事業	31
Ⅵ 在宅福祉サービスの提供	
㉑福祉移送サービス（外出支援サービス）	31
㉒たすけあい・ライフサポーター（訪問型サービスB）派遣事業	32
Ⅶ 居宅介護支援事業所の運営	
㉓能美居宅介護支援事業所の運営	32
Ⅷ 老人福祉センター等の指定管理、運営	
㉔老人福祉センター白寿会館・寺井老人福祉センター「亀齢荘」の管理、運営	32
Ⅸ 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧	33

I 市民の参加と協力を得た組織運営

① 理事会・評議員会の開催

市民が参加、協力しあって地域福祉を推進する各団体である社会福祉協議会を構成し、協議し合う機会をつくった。

理事会	(第73回～77回)	5回開催
評議員会	(第68回～71回)	4回開催
評議員選任・解任委員会	(第13回～15回)	3回開催
監査会		1回開催

② 第4次能美市地域福祉活動計画の推進(1年目)

行政計画の第4次能美市地域福祉計画の策定と同時期に策定した、第4次能美市地域福祉活動計画を多くの市民の協力を得て推進した。

第4次計画を推進する3委員会

- 推進する3つの委員会※・・・30回開催
 - ・ここに寄り添い合う人づくり委員会
 - ・見守り・助け合い推進委員会
 - ・くらし応援委員会

第4次計画こころ豊かな地域づくりの会、評価委員会

- こころ豊かな地域づくりの会・・・4回開催
- 評価委員会・・・2回開催

※市民への報告の機会・・・「春まちぽかぽかプロジェクト」(5頁掲載)

2月18日(土)～25日(土)の間、第4次活動計画の推進に関する報告の機会として、15プログラムを実施した。

③ 会員会費募集

推進月間(7月)に取り組み、まちぐるみで地域福祉活動を進める気運を盛り上げた。地域福祉充実のための財源として活用した。

正会員実積	個人会員数	934名	金額	934,000円
	組織・団体・法人	87団体		435,000円
賛助会員実積	個人会員数	3,169名		1,685,720円
	企業・団体	196団体		709,000円
		総額		3,763,720円

④ 愛の福祉基金

市民の善意による寄付を愛の福祉基金として積み立てた。

9件 総額6,662,900円

Ⅱ 福祉意識の醸成の働きかけ

⑤ 社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動

各種大会やつどいを開催し、市民の福祉意識を啓発し、地域での支え合いや助け合いの活動への参加を促した。

大会の名称	期日・会場	参加者数	受賞者一覧
第18回 能美市社会福祉大会	10月2日 (日) 辰口 福祉会館	165名	社会福祉功労者等表彰(24名3団体)(敬称略) <u>民生委員児童委員</u> 1名 姫崎 実 (寺井地区) <u>社会福祉活動者・団体</u> 3団体 能美市お笑い演芸会 (代表:梶井 孝吉 会員数:4名) 歌とマジックの会 (代表:本 博雄 会員数:8名) オカリナ倶楽部 九谷まほろば (代表:本佐 盛明 会員数:15名) <u>社会福祉団体役職員</u> 7名 村中 忠夫 (能美市身体障害者福祉協議会) 本南 裕 (能美市手をつなぐ育成会) 米田 外喜 (能美市手をつなぐ育成会) 稲山 俊雄 (能美市遺族会) <u>社会福祉施設役職員</u> 19名 木谷 恵 (能美市作業所連絡) 松山 彩希 (喜峰会) 宮田 彩 (喜峰会) 下谷 文子 (グッドスター) 前田 栄子 (太陽クラブ) 大森 和恵 (湯寿園) 宮地 紫 (湯寿園) 岸 千恵美 (ニチイ学館) 竹村 佐知子 (ニチイ学館) 吉田 昌美 (ニチイ学館) 加納 宏二 (佛子園) 山本 沙也香 (佛子園) 永井 智子 (陽翠水) 細見 量子 (陽翠水) 小坂 洋子 (優・優 花咲く丘) 川畑 清美 (優・優 花咲く丘) 貝森 幸代 (優・優 花咲く丘) 太田 智子 (市保育園) 狩野 真理子 (市保育園) 第2部(講演・パネルディスカッション) <u>講演</u> 「能美市地域福祉計画と能美市地域福祉活動 計画の両輪で地域共生社会の実現をめざして」 <u>講師</u> 同志社大学 社会学部 教授 永田 祐 氏 <u>パネルディスカッション</u> テーマ:あなたが取り組めることは、何でしょうか パネリストの皆さん
			
受賞された皆様			
			
受賞者代表で謝辞を述べる米田氏			
			
パネルディスカッションの様子			
下ノ江町地域福祉委員会委員長 (町内会長)		米光 一彦 氏	
相談支援センターはまかぜ 相談支援専門員		堂前 美春 氏	
能美市健康福祉部いきいき共生課 課長補佐		榎田 雅美 氏	
能美市社会福祉協議会 コミュニティ・ソーシャル・ワーカー		寺西 智江 氏	

地域のいろいろな支え合い活動を知り、学び合う機会として開催し、誰もが個々の力を活かし、支え合いの地域づくりに関わる大切さを啓発した。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| ★プログラム1, 2, 5, 11, 15 | 第4次能美市地域福祉活動を推進する3委員会の取り組みを理解する機会 |
| ★プログラム3, 4, 6~10, 12~14 | 市民の支え合い・助け合い活動から見たつながりを知る機会 |
| ★関 連 事 業 | 皆さんの温かい気持ちが形となり地域に活かされる機会 |

【参加者数】 延べ1, 451名

— 5 —

【「能美たすかったわ～大賞」「“きらり★ふくしの魅力” フォトコンテスト」の表彰式
2月25日(土) 13時30分～ 寺井地区公民館 大ホール

＊「能美たすかったわ～大賞」応募総数 857 作品
(一般 165 作品 小学生の部 692 作品)

長引くコロナ禍のなか、見えた新たな助け合いや地域でのあたたかいつながり、住民同士が互いに支え合うことの大切さについて理解を深め、地域福祉推進の意識向上の気運を高めるために、「あんたのおかげでたすかった～、うれし～かった話」の100文字作文を募集、表彰した。

大 賞 泉 夏凜 (寺井中学校 2年) (敬称略)

【作品】 夏の大雨の日、川が氾濫しそうで怖かった私に「お父さん達が帰ってくるまで、うちにおいで」と近所の方が言ってくださいました。怖い気持ちが一瞬で安心に変わり、その一言がとてもうれしかったです。

一般の部 優秀賞 山本 宗 (辰口中学校 2年)
// 西 雅代 (三道山町)

小学生の部 優秀賞 表 柑名 (浜小学校 4年)
// 中西 歩 (浜小学校 5年)
// 西田 陽空 (寺井小学校 5年)
// 竹吉 央 (湯野小学校 6年)
// ダムチェンデク (宮竹小学校 4年)



市社協伴場会長から受賞者の方へ、表彰状と副賞を贈呈しました。

＊「“きらり★ふくしの魅力” フォトコンテスト」応募総数55作品

人と人とのふれあいや交流の心温まる様子を写真を通して見る事で、“支え合いの存在”の大切さを再確認し、福祉の魅力を発信することを目的として募集、表彰した。

◆最優秀賞

岩上 のり子
社会福祉法人湯寿会
作品名「だるま落とし、危機一髪！」



◆優秀賞

西田 輝夫
山田町
作品名「お年玉あげたのに」

◆優秀賞

塩村 克彦
社会福祉法人能美市社会福祉協議会
作品名「あ～～～やっぱり温泉一番」

◆審査委員特別賞

永井 智子
社会福祉法人陽翠水 共生型福祉施設 G-Hills
作品名「はじめてのハロウィン」

「ふくしの魅力発信!!ぽかぽかパネル展示」

能美たすかったわ～大賞の受賞作品、“きらり★ふくしの魅力” フォトコンテスト応募作品、市内のボランティアグループの活動紹介や市内の福祉協力校の福祉教育・ボランティア活動紹介、のみ社会福祉法人連絡会の取り組み等を展示した。手作りの展示物から、それぞれの活動に対する熱意やあたたかな気持ちが伝わった。

実施日時：2月18日(土)～25日(土) 10時～16時
実施会場：寺井地区公民館
見学者：250名



「ぽかぽかミニコンサート」「ぽかぽか演芸ショー」

老人福祉センター2館（亀齢荘・白寿会館）で、ぽかぽかミニコンサート及びぽかぽか演芸ショーを開催しました。

寺井老人福祉センター「亀齢荘」
開催日：2月21日(火)
時 間：13時30分～14時
内 容：大正琴サークル
「柞の花」ミニコンサート
参加者：30名



老人福祉センター白寿会館
開催日：2月24日(金)
時 間：13時～14時30分
内 容：「能美市お笑い演芸会」
多彩な演芸ショー
参加者：41名

地域福祉のつどい

※春まちぽかぽか
プロジェクト
最終日

※第4次能美市地域福
祉活動計画の1年目
の報告会として開催

2月25日
(土)

寺井地区
公民館

会場
107名

◆第4次能美市地域福祉活動計画の 3委員会委員長が報告

- ・ここに寄り添い合う人づくり委員会
津田 康則 委員長
- ・見守り・助け合い推進委員会
藤田 珠美 委員長
- ・くらし応援委員会
栗山よしみ 委員長

それぞれの委員会が気づきや知ることから始まり、心が動かされ活動に至り、助け合いのつながりづくりが行われていることが報告された。

◆講演

演題「助けたり、助けられたりの地域づくり」
講師 ローカリズム・ラボ
代表 井岡 仁志氏



⑥ 広報誌の発行・ホームページ運営・SNS 等による情報発信

社協広報誌「ほほえみ」の発行（年4回）やホームページ・Facebook・Instagram を運営し、地域福祉活動やボランティア活動の啓発と情報を発信した。

- ・第68号（ 6月1日発行）・・・令和4年度事業計画・会計収支予算他
- ・第69号（ 9月1日発行）・・・令和3年度事業報告・収支決算、理事・監事・
評議員紹介、災害ボランティアセンターの設置他
- ・第70号（12月1日発行）・・・能美市社会福祉大会、石川県社会福祉大会他
- ・第71号（ 3月1日発行）・・・歳末お見舞金贈呈、「能美たすかったわ～大賞」
「“きらり★ふくしの魅力”フォトコンテスト」表彰他

⑦ 交流を中心としたふれあい福祉事業

交流を中心としたふれあい福祉事業や福祉専門職の資質向上のための交流研修を実施し、地域における「福祉意識」を盛り上げると共に、専門職の力を地域で活かすように働きかけた。

1	聴覚に障がいのある方のつどい 「福耳ネット」 ※耳が聞こえにくい方のつどいの 場と、仲間づくりの活動を支援	年間 11 回 第 4 水曜日 寺井地区 公民館 12 名（会員） 延べ 41 名 ※ 1 回中止 （1 月大雪のため）	障害者サービスについての情報交換 「手話サークルめだか」が協力  能美市九谷焼美術館へ、見学に行きました。
2	視覚に障がいのある方のつどい 「ぬくもりサロン」 ※視覚に障がいのある方のつどいの 場と、仲間づくりの活動を 支援	① 10 月 19 日（水） ふれあいプラザ 6 名 ② 11 月 15 日（火） 小舞子温泉足湯 道の駅めぐみ白山 7 名 ③ 12 月 23 日（火） ふれあいプラザ 4 名 ④ 1 月 17 日（水） ふれあいプラザ 6 名	交流や障害者サービスにかかる 情報交換 「ボランティアほおずき」が協力  白山市へおでかけし、楽しい時間を過ごした。
3	「ここに寄り添い合う 人づくり講座」 ここに寄り添い合う人づくり 委員会が主催 ※①（5 頁掲載）「春まちぽかぽかプロジェクト」 において開催。	① 2 月 19 日（日） ふれあいプラザ 60 名 ② 年間 4 回 1 回中止 （新型コロナウイルス 感染拡大防止のため）	① 身体障がいのある方や、知的障 がいのある子の母親の思いを 聞き、ここに寄り添い合う意 識づくりの機会として開催 ② 放課後児童クラブと放課後等 デイサービスに通う児童がポ ッチャ体験を通して交流

※ふれあい福祉交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。

⑧ 福祉団体や福祉活動グループの活動支援

福祉団体、福祉活動グループの組織活動を支援し、市民や団体の会員相互のふれあい交流事業や福祉のまちづくり活動への働きかけ、福祉意識の醸成を図った。

- ・老人クラブ連合会の支援（市連合会と 3 支部の事務局担当）
- ・身体障害者福祉協議会の支援（市協議会と 3 支部の事務局担当）
- ・母子寡婦福祉連合会の支援（事務局担当）
- ・民生委員児童委員協議会の支援（市協議会と 3 地区の事務局担当）
- ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援（事務局担当）

市民提案型協働事業として、根上・寺井・辰口地区ごとに毎週 1 回少し虚弱な高齢者のミニデイサービスを実施している地域のボランティアグループまだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の活動を支援しています。

「ほがらか会」実績

会場（開催曜日）	開催数	利用者数（延べ）	ボランティア数（延べ）	場所
根上会場（毎週木）	46 回	244 名	182 名	老人福祉センター「白寿会館」
寺井会場（毎週金）	48 回	239 名	98 名	寺井老人福祉センター「亀齢荘」
辰口会場（毎週火）	48 回	197 名	98 名	辰口福祉会館
合計	142 回	680 名	378 名	

- ・のみ社会福祉法人連絡会の支援（事務局担当）

「のみ社会福祉法人連絡会」は、市内9社会福祉法人で組織。地域課題の改善や解決をめざす地域福祉の担い手として、各法人や行政、他機関と連携・協働して各事業に取り組んだ。

- ① 会議 定期総会及び市長による講演会：1回
 幹事会：隔月・臨時開催(7回/年)・取組み事業(案)の検討等
 いたばし社福連とのZoom会議：臨時開催（1回/年）先進的な取組状況について
 職員研修にかかる専門委員会：随時開催(6回/年)
 ふれあい弁当にかかる専門委員会：随時開催(3回/年)
- ② 事業
 - ・共生社会実現のための啓発：オリジナルTシャツ作成
 - ・福祉教育の協力：ジュニアボランティアクラブの講師や体験の指導
 - ・福祉の魅力発信：“きらり★ふくしの魅力”フォトコンテストの参加
 春 まち ぽかぽか プロジェクト協賛にて「法人連絡会の取組み」パネル展示
 インスタグラムで情報発信（法人・職員紹介、Tシャツデザイン発信）
 - ・職員研修：「視野を広げてつながろう！SDGs クロスゲームを通して地域を知ろう」
 を企画し、クロスゲームを通じて、能美市の地域課題の解決策を多職種で話し合った。
 - ・ふれあい弁当：5法人が地域の高齢者等の弁当の調理を担った。
 - ・フードドライブの実施及び社会福祉協議会への食品寄贈

Ⅲ 地域の支え合い体制づくりの推進

⑨見守りネットワークの構築

⑨-1 地域福祉委員会の活動支援

市内では各町会・町内会単位で地域・地区福祉委員会が設置され、一人暮らし高齢者や障がいのある人など、支援を必要とする人が安心して暮らせるように、地域住民で見守り、支援する活動を行っている。社会福祉協議会では、地域福祉委員会活動ヒント探し講座を開催し、地域・地区福祉委員会の活動を支援している。

- ①地域・地区福祉委員会への活動支援 設置数……91ヶ所

根上地区設置数・・・21ヶ所	} (平成28年度に市内全町(内)会に設置されました。)	地域・地区福祉委員会開催回数 494回
寺井地区設置数・・・23ヶ所		
辰口地区設置数・・・47ヶ所		

- ②各町会・町内会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、連絡・調整等の支援をすすめた。

各地域・地区福祉委員会へCSWが出向いた回数 138回

- ③地域の課題を持つ人にかかわる地域の支援者の後方支援を行い、地域づくりをすすめた。また、日常生活の困りごとのニーズ把握や解決に向け関係機関や地域と連携を図り、地域との関係づくりに取り組んだ。

支援した回数 21回

地域福祉委員会活動ヒント探し講座の開催

講座名	受講者実績	実施期日・回数	会 場
入門編	25町(内)会より受講者の推薦があり、36名が受講。修了者を地域福祉委員会活動推進員に登録した。 (累計 436 名、登録者数 409 名)	8月30日～ 11月11日 (全4回)	① 寺井地区公民館 ② ふれあいプラザ ③ 各町(内)会で実習 ④ ふれあいプラザ
	【講座内容】 ① 開講式と講義『With コロナ&天災だからこそ ～新たな『互近助』づくりへ～』 講師 内 慶瑞氏(金城大学社会福祉学部 教授) ② 【高齢者支援について】 根上あんしん相談センター 管理者 清見 由佳理氏 寺井あんしん相談センター 管理者 前田 由美子氏 辰口あんしん相談センター 管理者 清水 博美 氏 【障がい者支援について】 社会福祉法人 なごみの郷 相談支援センター はまかぜ 相談支援専門員 西本 美由紀氏 【子育て支援について】 能美市子育て支援センター センター長 橋場 礼子氏 【外国人支援について】 能美市国際交流協会 会長 喜多 泉氏 ③ 実習『我が町で地域福祉委員会を開いて、町の様子を話し合ってみよう』 ④ 講義『無縁社会をご縁社会に』・グループワークと閉講式 講師 内 慶瑞氏(金城大学社会福祉学部 教授)		
実践編	地域福祉委員会活動推進員のいる 5地域・地区福祉委員会が受講・ 参加者は17名(下ノ江サントウン、 辰口町、緑が丘3、緑が丘6、緑が 丘10)	9月28日～ 12月6日 (全3回)	各町(内)会の公民館 ふれあいプラザ
	【講座内容】 ① 講義『地域福祉委員会活動における住民流支えあいマップづくりの目的と 手法を学ぶ』 ② 実習『わが町で住民流支えあいマップづくりを 実践する!』 ③ 講義『それぞれの町で作成した住民流支えあい マップづくりを自分たちで検証する!』 講師 住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏		
活動推進 会議 (全2回)	実践編を終了した81地域・地区福祉委員会を指定。 (根上地区) 赤井町・西任田町・五間堂町・中庄町・福岡町・西二口町・ 中ノ江町・高坂・根上町・下ノ江町・浜開発町・大成町・福島町・ 吉原町・大浜町・中町・浜町・道林町・山口町 (寺井地区) 寺井町横町・寺井町山道・寺井町中町・寺井町北町・九谷町・ 小長野町・大長野町・小杉町・末信町・牛島町・佐野町・泉台町・ 湯谷町・秋常町・新保町・粟生町・吉光町・東任田町・緑町 (辰口地区) 和佐谷町・岩本町・灯台笹町・大口町・宮竹町・三ツ口町・長滝町・ 筋生町・岩内町・火釜町・来丸町・三ツ屋町・倉重町・湯屋町・ 下徳山町・下開発町・徳久町・荒屋町・高座町・上清水町・北市町・ 和気町・和光台・寺畠町・館町・金剛寺町・坪野町・鍋谷町・ 仏大寺町・緑が丘・緑が丘1・緑が丘2・緑が丘4・緑が丘5・ 緑が丘7・緑が丘8・緑が丘9・松が岡		

※11Pへ続く。

活動推進 会議 (全2回)	★活動推進会議指定地域・地区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、福祉推進員の他、地域福祉に関わる地域住民に参加を呼掛けた。
	① 地域福祉委員会活動連絡会の開催 町会・町内会長を委員長とする地域（区）福祉委員会関係者に対し、地域福祉活動の必要性について理解促進を図り、地域での見守り・助け合い活動をすすめることを目的として、市・町会連合会と共催し「地域福祉委員会活動連絡会」を開催した。 実施日時：6月27日(月)～30日(木)午後7時～8時30分 実施会場：根上総合文化会館・寺井地区公民館・辰口福祉会館 内 容：能美市における地域福祉委員会の取組みについて工夫して活動している事例を紹介し、理解を深める。 参 加 者：177 名
	②地域福祉セミナーの開催 「見守り・助け合い推進委員会」と「能美市民防災ネットワーク」が主催 実施日時：2月23日（木・祝）午後1時30分～3時30分 実施会場：寺井地区公民館 内 容：地域福祉委員会における助け合い活動の拡充と周知、啓発のため、令和4年8月の豪雨災害を切り口に、防災をきっかけとした地域の見守り・助け合い活動について考える機会につなげた。 参 加 者：会場 110 名 ※（5 頁掲載）「春 まち ぽかぽか プロジェクト」において合同開催。

⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援

町会・町内会単位で福祉推進員125名を委嘱(任期2年)、地域福祉委員会の活動研修会への参加の機会をつくり、その活動を支援した。

・委嘱状交付式及び研修会

【日 時】5月13日（金）午前10時～11時30分

【会 場】辰口福祉会館 交流ホール

（福祉推進員：根上地区31名 寺井地区43名 辰口地区51名 計125名）

・福祉推進員各地区代表者により設置している福祉推進員連絡会において研修の機会を企画し、その活動を支援した。

【日 時】3月7日（火）午前10時～11時30分

【会 場】ふれあいプラザ 第1会議室

【対象者】各地区代表6名

・研修会

『ふくし × ICT 活用入門講座』（※いきいきサロンボランティアと合同開催）

コロナ禍をきっかけに ICT を利用する機会が増え、これから益々、情報発信や情報収集のしくみの一つとして活用される中、入門講座としてまずは ICT に触れることで、今後の ICT を活用した研修会等への参加や情報収集の機会につなげることを目的に開催した。

【日 時】3月30日（木）午後1時30時～3時

【会 場】ふれあいプラザ

【講 師】小山 睦美氏（株）ベネッセコーポレーション小中学校事業部 ICT サポーター）

【参加者】23名

⑨-3 いきいきサロン等の活動支援

町会・町内会単位で行われている高齢者等の閉じこもり予防や見守りの集い、いきいきサロン等の活動費の助成や研修会の開催、講師を紹介するなど、必要な支援を行った。

根上地区	設置数 20 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 162回 2,817名 930名
寺井地区	設置数 22 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 304回 3,441名 796名
辰口地区	設置数 37 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 217回 3,151名 681名
いきいきサロン等活動費の助成総額 2,763,000円 (財源は、市社会福祉協議会会員会費)		

※(11頁掲載)福祉推進員連絡会と合同開催。

⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援

一人暮らし高齢者の社会参加の外出の機会として、地域(地区)福祉委員会等が実施する「一人暮らし高齢者昼食会」及び「おでかけサロン」に対し、その費用の一部を助成した。

事業名	助成額	実施町会・町内会 (開催回数)	参加者数
一人暮らし高齢者昼食会	対象者1名あたり 700円を助成	29町会・町内会	246名
おでかけサロン	1町会・町内会 7,500円を助成	16町会・町内会 (23回)	延べ396名

⑨-5 ふれあい弁当の実施

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障害者世帯等に対し、のみ社会福祉法人連絡会の会員法人が調理協力する夕食の「ふれあい弁当」を民生委員・児童委員や福祉推進員が配達することにより、安否の確認と孤独感の解消及び地域で気にかかる方を見守るための訪問の機会につなげた。(1名につき、月2回まで利用可)

【対象者】 満75歳以上一人暮らし高齢者等

【利用料】 1食200円

【実施回数】 23回×3地区＝69回

根上地区	利用実人数 延べ協力ボランティア数 調理協力 (第1)(社福) 泰耀 (第3)(社福) なごみの郷	23名 154名	延べ提供食数 384食
寺井地区	利用実人数 延べ協力ボランティア数 調理協力 (第1・3)(社福) 南陽園	19名 201名	延べ提供食数 330食
辰口地区	利用実人数 延べ協力ボランティア数 調理協力 (偶数月)(社福) 陽翠水 (奇数月)(社福) 佛子園	15名 200名	延べ提供食数 314食
・中学生のボランティア活動として弁当を配達する「ふれあい訪問」は、コロナウィルス感染拡大防止のために(根上中)、大雪のために(寺井中・辰口中)中止。			

⑨-6 子育て応援弁当の実施

産前・産後2ヶ月までの方がいる核家族世帯に対し、主任児童委員が「子育て応援弁当」（のみ社会福祉法連絡会会員法人の調理による）を配達し、子育てを地域で応援した。（原則1世帯3食まで）

【対象者】産前と産後2ヶ月までのママとその家族（原則 核家族で祖父母等の支援を受けられない方）

【実施回数】第1～4水曜日、第2・4金曜日 毎月6回（年間67回）

【利用料】1食250円 3食目350円

・利用実績	延べ提供食数	742食
	利用実人数	26名

⑨-7 音訳テープの提供

音訳ボランティア（音訳ボランティアたんぽぽ）が作成した、広報誌等の音訳テープを、視覚に障がいのある人に届け、正確な情報の提供に取り組んだ。

各図書館に音訳テープを設置

・市広報誌「広報のみ」 ・市議会だより「のみだより」 ・社協広報誌「ほほえみ」

⑨-8 傾聴ボランティアの派遣と活動支援

一人暮らし等の高齢者の地域での孤立を防ぐため、傾聴ボランティアが高齢者の自宅へ訪問し、話を聞くことで安心感を持ってもらう。

・傾聴ボランティアを高齢者宅へ派遣

【対象者】6名（一人暮らし又は日中独居の高齢者）

【訪問回数】年間28回（月1回を基本）

【実施場所】対象者の自宅



“傾聴”に役立つ専門研修を開催

・傾聴ボランティア連絡会「うなづき」の連絡会と専門研修を支援（事務局担当）

【登録者】傾聴手法を学んでいる25名

【連絡会】年間6回（2ヶ月に1回）内2回は専門研修

【開催場所】ふれあいプラザ

⑨-9 能美市民防災ネットワークの活動支援

町会・町内会や壮年団、婦人会、民生委員・児童委員、ボランティア、郵便局、防災士などが集まり、災害時において各団体が地域の課題や被災状況等の情報共有を図り、被災者への支援活動を円滑にすすめる為に、平常時から情報交換や、連携を深めることを目的とする「能美市民防災ネットワーク」の活動を支援した。

【委員会】6回

・8月6日（土）～8月11日（木・祝）・8月21日（日）8月の大雨災害で災害ボランティアセンターが設置されたことにより、災害ボランティアセンター本部及びサテライトにて運営協力。

・9月25日（日）能美市防災フェスタ2022に参加

・10月23日（日）第15回ボランティアフェスティバルに参加

・2月23日（木・祝）研修会（春まちぽかぽかプロジェクト）



⑩ 生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み

⑩-1 生活支援コーディネーターの配置

地域における生活課題の把握を行ない、課題解決に向けたネットワークや社会資源の構築を目的に、生活支援コーディネーターを9名配置。（兼務）

- ・第1層生活支援コーディネーター（市全域） 1名
生活支援コーディネーターによる課題解決のための多様なネットワークづくりと資源開発
- ・第2層生活支援コーディネーター（中学校区） 8名
生活支援コーディネーターによる地域課題把握、助け合い活動の推進

【会議】

- ・地区別 2 層生活支援コーディネーター会議 全 9 回
- ・第 1・2 層生活支援コーディネーター会議 3 回

- ＊市主催の会議に参加 8 回
強い互助づくりの支援体制構築専門部会
（第1層生活支援サービス推進協議体）

⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）

町会（地域福祉委員会）の買い物・外出支援の活動を対象に、能美市商工女性まちづくり研究会所有の8人乗り乗用車を本会が借受け、貸出事業を開始した。（令和元年度より実施）また、令和3年度より、能美市より生活支援車両5人乗り乗用車の運営を受託し、合わせて2台を貸出した。

- 【貸出先】 栗生リンクの和
- 【貸出実績】 60 回
- 【延べ利用者】 221 名

⑩-3 フードドライブの実施

生活困窮や支援を必要な子育て世帯等への支援としてフードドライブを実施した。寄付された食品は、フードパントリー等を通じて、支援を必要としている方や子ども食堂へ渡した。

- 【実施回数】 4 回
- 【実績】

	期 日	受付会場	個数(個)	重さ(kg)
1 回	8 月 20 日(土)・21 日(日)	能美市ふれあいプラザ	883	230
2 回	10 月 8 日(土)	ふれあいリサイクルセンター	138	217
	※10 月 23 日(日)	辰口福祉会館	726	219
3 回	12 月 3 日(土)・4 日(日)	寺井地区公民館	536	282
4 回	※2 月 25 日(土)	寺井地区公民館	586	220

※10月23日は、（22頁掲載）能美市民ボランティアフェスティバルに併せて開催。
※2月25日は、（5頁掲載）「春 まち ぽかぽか プロジェクト」に併せて開催。



受付の様子



仕分け作業の様子

⑪ 同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援

	活 動 名	期 日	会 場	参加者等
介護等に関して	ほっとあんしんサロン 心の悩みなど、日頃の思いを 気軽に語り合う場 ※能美市介護を考える会の協力を 得て実施 【財源】共同募金	11 回開催 毎月第2水曜日	ふれあいプラザ	80 名
	親子サロンとママ友相談 就学前の子どもや、その親・ 祖父母が気楽につどい、ふれあい や交流を深め、気軽に子育ての相 談などができるサロン ◎地域の公民館等で開催し、地域の だれもが参加出来る共生型のサ ロンを目指す。 【実施回数】週1回 ※スタッフとして有償ボランティア で実施	根上地区 水曜日 45回 寺井地区 木曜日 43回 辰口地区 火曜日 43回	西二口町 公民館 (コミュニティセンター) 粟生 コミュニティセンター 岩内 コミュニティセンター	182名 (83組) 356名 (168組) 271名 (126組)
子育てに関して	ミニ運動会（年1回）	6月21日(火)	寺井中央 児童館	44名 (21組)
	絵本カフェ（2月・3月）	2月19日(日) (のびん広場) 3月16日(木)	ふれあい プラザ 西二口町 公民館 (コミュニティセンター)	51名 20名



※2月19日(日)は、(5頁掲載)「春 まち ぽかぽか プロジェクト」に併せて開催

⑫ ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営

ボランティア・コミュニティ活動支援センター事業を市民参画で進めるために、運営委員10名による運営委員会を開催した。

【実施回数】 3回 6月8日(水)、7月11日(月)、2月8日(水)

【内 容】 第1回 委嘱状交付式及びボランティア講座・役割の確認
第2回 ボランティアグループ活動助成の検討
第3回 ボラセンの活動報告及び「あい・テラス」の取り組みについて

◆「あい・テラス」の実施 2月23日(木)

【時 間 帯】 11時30分～12時

【内 容】 福祉教育の推進にかかる講座の紹介DVDの上映や、ボランティア活動の紹介コーナー、多様なボランティア活動の紹介コーナーを設置した。

⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入

ボランティアの登録及び相談斡旋をすると共にボランティア活動保険の保険料を助成し、その加入を推進した。

【登録実績】 83グループ 3,049名 (全てボランティア活動保険に加入)

【相談斡旋実績】

	依 頼 先 ボランティア相談内容	町(内)会 いきいき サロン	福祉 施設	保育 学校 関係	企業 団体	その他	件数
1	ふれあいの場開催に関する活動	31	1			4	36件
2	高齢者・障害者への支援に関する活動	2				1	3件
3	子育て支援に関する活動						件
4	福祉教育(地域や学校に出前)に関する活動			22		1	23件
5	文化・伝承活動に関する活動						件
6	環境保全活動に関する活動					2	2件
7	国際交流活動に関する活動						件
8	防災活動に関する活動						件
9	健康促進に関する活動						件
10	その他					2	2件
合 計		33	1	22	0	10	66件

【登録一覧】 (活動分野別)

高齢・障がいのある人の支援	団塊世代仲間生活・買物支援	芸能	絵手紙	読み聞かせ	環境	子育て支援	交流	更生保護	その他	合計
20	7	19	2	4	7	8	4	3	9	83

【令和4年度能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター登録グループ一覧】

令和5年3月31日現在

No	分野	グループ名	活動の内容
1	介助	J A能美 ボランティアグループ	福祉施設でシーツ交換などの協力をしています。
2	介助	げんきかい	福祉施設でのサポートやアロマハンドマッサージによるふれあい交流をしています。また、老人クラブの運動会の支援もしています。
3	介助	しらゆり会	福祉施設利用者の理髪やティータイムの手伝いと話し相手等をしています。
4	介助	寺井民児フレンド サークル	古切手、古木綿布、タオル、石鹸等を収集し施設へ届けています。イベント応援もしています。
5	介助	能美市笑いヨガ倶楽部	福祉施設やいきいきサロンで笑いヨガによるふれあい交流をしています。
6	介助	ヘルスケアJA根上女性部	福祉施設でのシーツ交換のほか、傾聴ボランティア、各種イベントのお手伝いをしています。
7	介助	まだまだ元気な高齢者 サポートグループ 「ほがらか会」	市民提案型協働事業「ほがらか会」(閉じこもりを防ぐミニデイサービス)を行っています。
8	介助 環境	ちぐさグループ	福祉施設や地域のいきいきサロンでのふれあい活動や、環境保護活動として「ぼかし」の製造販売をしています。
9	介護 介助	NPO法人 「たすけ愛」ほっと	地域福祉活動や地域のイベントでの参加者の介助の手伝いをしています。
10	介護 防災	能美市赤十字奉仕団 チーム20	地域での認知症についての理解講座や高齢者向けレクリエーション指導をしています。また、小・中学校での福祉体験学習に協力しています。
11	介護 防災	ボランティアほおずき	福祉施設での話し相手、給茶サービス、ビューティケア、救急法、健康生活支援講習、災害ボランティアの研修などを行っています。
12	手話	手話サークル 虹	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
13	手話	手話サークル ゆず	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
14	手話	手話サークル めだか	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
15	団塊 世代 仲間	元気でやろう会	シニア世代として、荷物の運搬や簡単な草木の手入れなど、自分たちができることを、支援を必要としている方の要請に応じて手伝っています。
16	団塊 世代 仲間	シニア大楽	シニアからのセカンドライフを心豊かに過ごす趣味や生きがいづくりを通した仲間づくりの活動をしています。
17	買物 支援	認定NPO法人えんがわ	毎週、ふれあい市を開店し地元を中心に販売、買い物支援を実施。また冒険の森の伐採、公園清掃などを行っています。
18	買物 支援	能美市商工女性 まちづくり研究会	地域貢献と地域振興を目的として、市内山間部の地域を中心に、買い物に困っている方々を支援する「移動販売」を行っています。
19	生活 支援	たすけあい・ライフ サポーター「えがお会」	たすけあい・ライフサポーター活動支援講座を修了し、支援を必要とする高齢者と温かなコミュニケーションをとりながら、自立に必要な家事支援を行っています。
20	生活 支援	東レOB支援隊	東レのOBが集まり、高齢者の生活の支援サポートを行っている。
21	音訳	能美市音訳ボランティア たんぽぽ	3地区の音訳グループが協力して、広報誌を音訳し、テープに録音しています。

22	高齢者・障がい者支援等	傾聴	能美市傾聴ボランティア 連絡会 うなづき	傾聴技術を学び、心に寄り添った会話をすることで、高齢者に安心感を与えることを目的に訪問活動をしています。
23		高齢 障がい者 支援	辰口民生児童委員OB会	地区内施設の支援活動などを行っています。
24		相談	能美市介護を考える会	会員同士の思いを話し合い、お互いの心の支えとなることや、介護についての学習の場として学びあうことなどをすすめています。
25		点訳	点訳グループ 双六	点訳友の会に所属して図書の点訳をしています。小・中学校の福祉体験にも協力しています。
26		配食	ふれあい弁当配達 ボランティアグループ	ふれあい弁当事業の配達を行っています。
27		要約 筆記	能美要約筆記サークル みみずく	聴覚に障がいのある方のコミュニケーション支援と社会参加を支援しています。研修会や講演会、イベントなどで活動しています。
28	芸能・生涯学習関連等	芸能	amitie' (アミティエ)	ギター演奏と歌を通してイベントでの活動を行っています。
29		芸能	アル・ソーレ	童謡や唱歌を通して、ふれあい交流を目的にイベント会場や福祉施設を訪問しています。
30		芸能	ウクレレサークル nomilele	ウクレレ演奏を通し、地域の福祉施設やイベントでの活動を行っています。
31		芸能	歌とマジックの会	歌とマジックを披露するを通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
32		芸能	オカリナ倶楽部 九谷の風	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
33		芸能	オカリナ倶楽部 九谷まほろば	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
34		芸能	オカリナサークル さざなみ	市内福祉施設等でのオカリナの演奏を行っています。
35		芸能	能美市お笑い演芸会	交流することを目的に、福祉施設などに訪問しています。
36		芸能	KONOHAWINDS	吹奏楽OBが集まり、演奏活動を行っています。
37		芸能	JA根上女性部「雅会」	大正琴の演奏を通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロン、イベントなどに訪問しています。
38		芸能	てらい愛唱会	歌で交流することを目的に、福祉施設に訪問しています。
39		芸能	根上歌謡会	懐かしい歌を楽しみながらふれあい交流を行います。福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
40		芸能	野花菖蒲たつのくち	民謡、歌謡曲、よさこいソーラン踊りなど、多種ジャンルから選曲し、イベントでの活動や福祉施設への訪問をしています。
41		芸能	能美市郷土芸能保存会	郷土の文化芸能を、子ども達へ引き継ぐ為に、伝承活動をしています。
42		芸能	能美マジック教室	マジックや、歌、踊りなどを通じたふれあい交流を目的に、地域のいきいきサロン等に訪問しています。
43		芸能	響の会	歌や踊りでの交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
44		芸能	任意団体能美市 福祉ボランティア かがやき姉妹	唄や寸劇を披露しふれあい交流することを目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンを訪問しています。
45		芸能	舞踊集団菊の会	踊りでのふれあい交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。

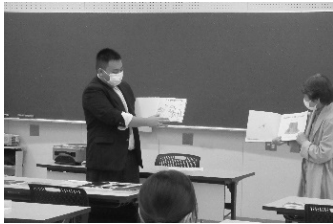
46	芸能・生涯学習関連等	芸能	菊の会「日本の踊り」	「日本の踊り」を通じて、中高齢者のつながりを大切に人生100年時代の「文化と健康づくり」と閉じこもり予防対策を目的としたボランティア活動に取り組みます。また、歌謡舞踊などを通じたコミュニティづくりを目指します。
47		読み聞かせ	えほんファミリー	赤ちゃんから高齢者まで幅広く楽しんでもらえるパネルシアターやペープサート等で活動しています。
48		読み聞かせ	おはなしの会 トゥインクル	活動地域の主婦が集まりお話の読み聞かせ活動をしています。また、辰口図書館の活動にも参加しています。
49		読み聞かせ	さゆりの会	童話や昔話の読み聞かせ活動をしています。
50		読み聞かせ	和気小図書ボランティア	和気小学校図書館での本の読み聞かせ活動をしています。
51		絵手紙	苺の会	老人クラブの有志で絵手紙を作成しています。また、1ヶ月に2回ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
52		絵手紙	葉月会	季節を愛でた絵手紙を作成し、高齢者に送っています。また、ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
53	環境		いけ花あじさいクラブ	能美根上駅窓口コーナーなどへ、四季折々のいけ花を提供しています。また、福祉施設に訪問し、フラワーアレンジメントを教えています。
54			護美ワーキンググループ	生ゴミを肥料に使う野菜作りの普及や環境問題を中心にした活動をしています。
55			高坂・根上町緑を守る会	身近にある山林を守る保全活動を通じて、緑に対する関心を高めることをすすめています。
56			能美の里山ファン倶楽部	貴重な役割を担う里山の活性化のために、里山地域の住民が考え、広く市民に里山の魅力をアピールする活動をしています。
57			能美花の会	草花への理解を深めるために、公共花壇の定植、講習会、研修展示会をしています。
58			ハリンコ保存会	絶滅危惧種「ハリンコ」の保護活動として、生息地や水路の清掃を行い、環境保護啓発の活動を展開しています。
59			フレンズ	史跡や公共施設周辺の草刈りや樹木整備をしています。また、男性同士のふれあい仲間づくりをしています。
60	子育て支援		青空自主保育 おひさまぼっこ	親子で自然とふれあい、親子同士の交流を図り集える場を開催しています。
61			こども食堂 I・RO・DO・RIひろば	不登校・相談室登校の児童・生徒が安心できる居場所作りや子ども・外国人などが一緒に食事できる場の提供をしています。
62			小松おやこ劇場	親子で心豊かに育ちあうことを目指し、舞台鑑賞、研修会、講師を迎えておはなし会を行っています。
63			三道山子ども食堂	食を通して、誰でもが集える場を目指して活動しています。
64			託児グループ リパティfam	イベント時の託児や、能美市ファミリー・サポート・センター、親子サロンなどの見守り活動に協力しています。
65			のみ♥子育て ネットワーク	地域の子育てを応援する為に、人と人がつながるきっかけ作りとして年に数回イベントを開催しています。定例会では、自身の子育てを本音で語り合いながらイベントの企画を話し合っています。
66			能美子ども食堂 ネットワーク	食を通して、誰でもが集える場を開催しています。
67			能美美育ネットワーク	公共施設への花の生け込み活動や、児童作品展の開催、保育園・福祉施設での美育セミナー（お茶、お花）をしています。
68	交流		粟生町歩歩笑美くらぶ	粟生町での多世代型交流として、カラーリングや、町カフェを開催し、多くの方とのふれあい活動を行っています。
69			中庄町丸いも娯楽会	農業体験を通じての世代間交流、地産地消の大切さを伝えるために、丸いもの普及活動を行っています。
70			能美市国際交流協会	外国の方々との交流サロンや、日本語教室、ふれあいイベントを開催し、国際感覚を育み、共に暮らす地域づくりの活動をしています。

71	交流	山ぼうしの会	使用済切手や書損じ葉書・ベルマーク等の収集整理活動をし、小中学校の教育支援や開発途上国の支援につなげています。	
72	更生保護	辰口地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。	
73		寺井地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。	
74		根上地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。	
75	その他	清掃活動	かが能美掃除に学ぶ会	公共施設（学校含む）のトイレの清掃活動を行っています。
76		民生委員	市民生委員児童委員協議会	地域福祉の推進役、地域における高齢・障害・児童育成の様々な支援活動を行っています。
77		防犯	辰口中央小学校見守り隊	辰口中央小学校の児童の登下校の見守りや交通安全指導などの見守り活動をしています。
78		学生ボランティア	寺井高等学校JRC部	ふれあい弁当事業の配達や、募金活動をしています。
79		健康啓発	能美・健康ワーキンググループ	市と連携し、健康づくりの活動に協力しています。地域のいきいきサロンにも訪問しています。
80		食育配食	能美市食生活改善推進協議会	市栄養教室修了者で構成。市民の食生活改善及び健康推進の普及、研修会や検診時の試食製作、配食サービス弁当づくりに協力しています。
81		スポーツ	能美市レクスボクラブ	高齢者や障がいのある人の閉じこもり予防や、自立による社会参加の促進、レクスボでの健康増進や心のふれあい交流をしています。
82		香害普及活動	香害認知を広める会	香害を知ってもらうため、ポスター・チラシの作成や講座などを行っています。
83		生物調査	どうぶつの守	希少生物や外来生物の調査を行っています。

⑫-2 ボランティア講座の開催

ボランティア活動に関心を持っていただけるように年代層別に、気軽に活動に参加できるような各種講座を開催した。

	事業（講座）名	実施月・回数	参加者数	内 容
①	能美市ジュニアボランティアクラブ 	10月～12月 全4回	計25名 延81名	※小学生とその保護者を対象として、市内社会福祉法人の施設の職員から、施設での取り組みや体験活動の講師として協力してもらいました。 体験活動では、障がいのある方々と手作り作業体験や高齢者の疑似体験、施設の利用者の皆さんとオンライン会議システム「Zoom」を使用して、交流することが出来ました。   何か“つながり”を持ちたいと考え、押し花カードにメッセージを書き、(社福)湯寿会に贈り、大変喜ばれました。 施設の目的や取り組みなどについて話して頂きました。 (社福)なごみ郷の利用者の皆さんと一緒に手作り作業体験で交流しました。

②	中学生ボランティア チャレンジ体験  それぞれの学校がコロナ禍でも出来ることを考え、活動に取り組みました。	11月～3月  		※市内中学校生徒会が企画 ・根上中学校企画 「コンタクトケースの回収運動」 11月15日(火)～11月18日(金) ・寺井中学校企画 ① 「コンタクトケースの回収運動」 11月14日(月)～11月18日(金) ② 「赤い羽根共同募金活動」 11月15日(火)～11月17日(木) ③ 「エコキャップ・プルタブの収集」 11月22日(火)、11月29日(火) ・辰口中学校企画 ① ひまわりの種の収穫 11月14日(月)～11月18日(金) ② ひまわりの種の配布(3月)
③	高校生ボランティア チャレンジ体験  読み聞かせの間、みなさん集中して聞いてくれました。	12月～1月 		① 高校生ボランティアチャレンジの意義を知る “読み聞かせ”のコツと基礎を学ぶ 「さゆりの会」 中田 紀子氏 12月9日(金) ② 読み聞かせの練習 12月16日(金) ③ 能美市立豊美保育園での実践 1月20日(金)
④	企業ボランティア セミナー 株式会社ヤクルト 能美サービスセンター	2月28日 (火) 1回	18名	「認知症について学び、超高齢社会における地域での支え合いの大切さの理解を深めた。」  講師：寺井あんしん相談センター 宮坂 悠太

⑫-3 災害ボランティアセンターの設置・運営

8月4日(木)、記録的な集中豪雨により災害が市内で発生し、能美市災害対策会議の決定、要請を受け、能美市地域防災計画に基づき社会福祉協議会が、翌5日(金)ふれあいプラザに能美市災害ボランティアセンター本部を、また、主に被害が集中している寺畠町にサテライトを設置・運営した。

設置場所 本部：ふれあいプラザ（寺井町た8番地1）
 // サテライト：こくそう里山公園交流館（和気町い21-1）
 設置・運営期間 本部：8月5日（金）～8月26日（金）22日間
 // サテライト：8月6日（土）～8月11日（木）、8月21日（木）7日間
 運営延人数 本部：66名 サテライト：130名 計196名
 ※市、県社協、市社協、能美市民防災ネットワーク他
 ニーズの内訳 121件受付（108件完了、13件キャンセル）
 ※主に家屋の泥だし、家屋洗浄作業、災害ごみ処分・移送作業
 ※キャンセルについては、危険を伴いボランティアでは対応できない作業または、依頼者が取り下げ
 ボランティア受付人数：本部：254名 サテライト：360名 計614名
 ボランティア活動延人数：608名



市内外から、たくさんのボランティアが駆けつけてくれました。

（ふれあいプラザ・サテライトでの受付の様子）



日頃からの運営訓練や備えが、スムーズな運営に繋がりました。



ボランティア一人ひとりの力が、大きな助け合いの力となり、早期に災害復興へと繋がりました。
 （ボランティア活動の様子）

⑫-4 能美市民ボランティアフェスティバルの開催

市内の福祉・環境・健康・生活と多岐にわたるボランティア活動に取り組んでいるグループや個人が一堂に会し、その活動を広く市民に情報発信するボランティアフェスティバルを市民による実行委員会形式で開催した。

【実施期日】10月23日（日） 【実施場所】辰口福祉会館
 【参加団体】53団体 【参加人数】約500名
 【内 容】10：00～ 開会
 10：20～ 講演会 講演：『誉のドコ行く？旅の道しるべ』
 講師：(株)テレビ金沢 アナウンサー 塚田誉氏
 11：20～ ふれあいイベント
 活動展示・体験・販売コーナー・スタンプラリー
 12：20～ ダンスステージ
 北國新聞文化センター チアダンスチーム Wings
 12：40～ おたのしみ抽選会
 13：00～ 閉会



体験コーナーの様子。まずは深呼吸～！



高校生ボランティア！
 フードライブの受付を頑張りました。



『君の笑顔』手話を用いて全員で合唱しました。

⑫-5 ボランティアグループ活動支援(助成金)

ボランティアグループ活動団体の活動を推進するために助成した。

【対 象】市ボランティア・コミュニティ活動支援センターに登録し、市ボランティア連絡協議会に加入した、次に該当するグループ

●活動実績が1年以上 ●会員数が5名以上 ●月1回以上の継続活動

No	申請グループ名	助成額 (円)	活動における助成内容
①	香害認知を広める会 代表 園山 まり子 令和2年設立(2年目) 会員数 10名	36,000	洗濯洗剤や柔軟剤などに含まれる香料やマイクロカプセルが及ぼす影響「香害」や、関連する環境問題について周知啓発に取り組んでいる。周知啓発のチラシ等を配付するための切手代等を通信運搬費として助成した。
②	中庄町丸いも娯楽会 食育グループ 代表 本 忠儀 平成25年設立(10年目) 会員数 34名	50,000	保育園児の食育として、「丸いも」の植え付けから収穫までの体験活動に協力している。体験を通じて、食の大切さや思いやりの心を育む活動に取り組んでいる。畑の場所がわかるようにする看板を備品費として、活動のために必要な肥料等を消耗品費として助成した。
③	オカリナ倶楽部 九谷まほろば 代表 本佐 盛明 平成27年設立(8年目) 会員数 15名	50,000	施設やイベント会場での演奏会を行ったり、いきいきサロンや敬老会などの地域での交流活動にも積極的に取り組んでいる。技術向上のための研修会の講師謝礼金や、活動に使用する譜面台等の消耗品費及び、楽譜等の印刷製本費として助成した。
④	舞踊集団菊の会 代表 徳田 重子 平成21年設立(14年目) 会員数 10名	50,000	踊りを通して高齢者等に元気と楽しさを届けたいとの思いから、いきいきサロンや老人会イベント等で、歌謡舞踊などを披露し、交流活動を行っている。活動に使用する扇子や帯を消耗品費として助成した。
⑤	辰口地域更生保護女性会 代表 南 一美 昭和35年設立(64年目) 会員数 86名	27,000	設立当初からの更生保護活動、非行防止、子育て支援を目標に掲げ、更生保護施設での奉仕活動や辰口地区校下の見守り活動を行っている。小学生の下校時、見守りパトロールに使用するマスクやカイロを消耗品費として、施設訪問のためのバス代を業務委託費として助成した。
⑥	のみ♡子育てネットワーク 代表 清水 奈津美 平成13年設立(22年目) 会員数 57名	50,000	子育て支援に関する勉強会やイベントを企画し、母親の育児支援を行っている。活動に使用する味噌づくりイベントの材料費やチラシ作成に必要な事務用品を消耗品費として、研修会にかかる講師や託児スタッフの謝礼として助成した。
合 計		263,000	

12-6 福祉協力校の活動支援

市内全小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、児童・生徒の福祉意欲の啓発やボランティア活動への理解を深める取り組みに対して助成し、活動を支援した。

- ・活動助成金交付 7小学校（1校は県社協指定校）、3中学校、1高等学校
- ・福祉協力校の福祉体験活動支援

福祉体験についての相談を受け、指導者や協力者を派遣したり、訪問先の施設との連絡調整を行うなど、福祉協力校が行う福祉体験を支援した。

【社会福祉協議会が把握した活動回数】 99回(学年はクラス単位)

【社会福祉協議会が把握した体験者数】 延べ3,237名

- ・福祉協力校活動連絡会

福祉教育の更なる充実を図るために、学校と地域のボランティア活動者や福祉施設職員等との情報や意見交換を行うことで、連携を深め、福祉教育の幅を広げる機会として開催した。

【参加者】福祉協力校担当教諭12名、ボランティア活動者8名、福祉施設関係者4名 計27名

【実施日時】8月25日(木) 13時30分～15時

【実施場所】根上総合文化会館 円形ホール

【内容】講演：能美市だからこそできる、福祉教育について考える！！

講師：富山国際大学 子ども育成部

教授 村上 満 氏

12-7 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援

市内で活動しているボランティアの相互の情報交換、交流などを図る市ボランティア連絡協議会の活動費を助成し、役員会や研修会を支援した。

- ・能美市ボランティア連絡協議会の活動の事務局を担当し支援した。
分野別研修会 56名参加、会員研修会 67名参加、他に総会、役員会(毎月1回開催)などを開催

12-8 ボランティア情報発信

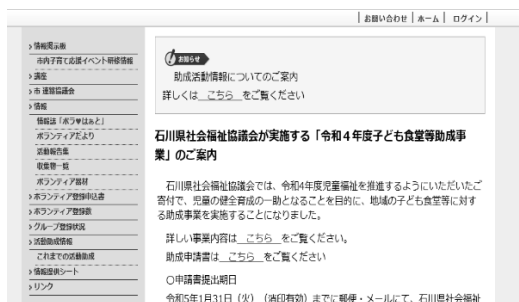
- ・ボランティア情報誌「ボラ♥はあと」を年2回(39号、40号)発行した。
- ・ボランティア団体の活動状況や活動紹介「ボランティアだより」を毎月1回、ボランティアコミュニティ活動支援センターのホームページに掲載した。
- ・ボランティア・コミュニティ活動支援センターのホームページを随時、更新した。

HP アドレス <http://www.nomi-shakyo.jp/vc>

HP QR コード



NV 能美市
ボランティアコミュニティ活動支援センター



⑫-9 ボランティア器材の貸出し <用品一覧>

【貸出実績】 146件（目的は、次のとおり）

・町会行事のふれあい行事（いきいきサロンを含む）	85件
・要介護者の移動等	12件
・学校等での福祉体験	16件
・ボランティアグループのふれあい活動	21件
・本会の正会員、賛助会員である福祉施設	12件
・その他、個人への貸出し	0件

【貸出用品一覧】

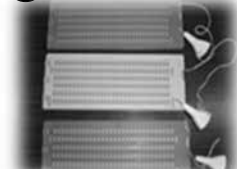
番号	貸出用品	貸出数量
①	車いす	14
②	点字器(携帯型)	81
③	アイマスク	19
④	高齢者擬似体験セット(ジュニア用)	2
⑤	プロジェクター	1
⑥	CDラジカセ	2
⑦	スクリーン	2
⑧	マイクアンプセット	3
⑨	ビデオ・DVDデッキ	2
⑩	視聴用ビデオテープ・DVD	多数

番号	貸出用品	貸出数量
⑪	ポップコーン機器	4
⑫	かき氷機	4
⑬	綿菓子機	4
⑭	レクリエーション器材(屋内用) 巨大ジェンガ、ボーリング、 ビンゴ、玉入れ、輪投げ、 ストライクアウト、ポッチャ、 羽根っ子ゲーム等	多数
⑮	カラオケ式	1
⑯	図書(福祉教材)	多数
⑰	サンタ衣装	3

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

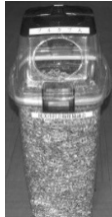


⑰



⑫-10 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが窓口となっている 収集物について

【収集物の使途及び実績一覧】

収 集 物	収集取り扱い団体	使 途
プルタブ  緑が丘町会より、多くの寄付を頂いた。 (プルタブ贈呈式の様子)	能美市社会福祉協議会	令和4年度 集めたプルタブは、 合計約 <u>67.8k g</u> 市内のボランティアグループ、企業、保育園、市民の皆様からたくさんのご寄付を頂いております。プルタブは、金属廃品回収業者に買いとってもらい換金し、福祉用具購入のために積立している。 (★約650kgで車椅子1台が購入できる。)   

【収集物の使途及び実績一覧】

集めているもの	収集整理している団体	送付	どんなことに役立つの？
ベルマーク 	ボランティアグループ 山ぼうしの会 使用済み切手は、 消印が残るように 切り取ってね！ 	ベルマーク財団 	ベルマークは、整理、計算して財団に送ると1点が1円に換算。学校の教材備品を購入。また、教育援助活動に使われる。
使用済インクカートリッジ (キャノン・エプソンのみ)		キヤノン・エプソン	使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。用途は、上記の通り。
使用済み切手 書き損じハガキ プリペイドカード		・公益財団法人 ジョイセフ(東京都) ・特定非営利活動法人 「誕生日ありがとう 運動本部」(神戸市)	・アジア・アフリカ中南米の発展途上国の保健活動(予防接種や保健師の活動)の助成に使われる。 ・障がい者問題に取り組む福祉活動に使われる。

○収集ボックスの設置について

老人福祉センター「白寿会館」、寺井老人福祉センター「亀齢荘」、G-Hills、能美市ふれあいプラザ

Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営

⑬ 高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口

高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口である寺井あんしん相談センターの運営を能美市より受託し、下記の業務を行った。

- ・高齢者福祉制度、サービス及び介護・認知症に関する相談
- ・地域とのネットワークづくり、介護予防の普及啓発
- ・権利擁護に関する相談

	内 容	件 数
1	実態把握（延）	3,314 件
2	地域活動支援（地域福祉委員会の出席等）	59 件
3	運営推進会議出務	7 件
4	出前講座・認知症サポーター養成講座開催	13 件
5	ケアプラン会議開催	150 件
6	地域ケア会議開催	102 件
7	権利擁護に関する相談・対応	146 件
8	連絡調整業務（介護保険の申請手続き等）	276 件

- ・介護予防支援、介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアプラン作成

	内 容	件 数
1	介護予防支援（直営）	238 件
2	介護予防支援（委託）	571 件
3	介護予防・日常生活支援総合事業（直営）	248 件
4	介護予防・日常生活支援総合事業（委託）	163 件

- ・高齢者や障がいのある方、生活困窮等複合的な課題を抱える世帯に対し、サービス事業所や必要な相談窓口等につなげ、その世帯を包括的に支援する調整を行った。
- ・各相談支援機関と連携を図り、解決に向けて協議するケース会議の開催・参加を行った。

	内 容	件 数
1	障がい者の相談（延） ※64 歳以下	194 件
2	生活困窮の相談（延）	40 件
3	支援チーム会議参加 地域ケア会議開催	3 件

※根上地区は「能美市立病院」、辰口地区は「（社福）陽翠水」が、各地区あんしん相談センターを受託している。

V くらしサポートセンターのみ の運営

⑭ 生活困窮者自立支援事業(食糧支援含む)

- ・社会的孤立や経済的に困窮する恐れのある方が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、個々に応じた包括的かつ経済的な相談支援を実施する。
- ・必要に応じて個別プランを策定し、目標達成に向けて支援を実施する。
- ・地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的とする。

【相談実件数】 511件
 【相談延べ件数】 1,376件
 【プラン件数】 18件

・家計改善支援

家計状況の見える化と根本的な課題を把握し、自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援プランを作り、早期の生活再生につなげていくことを目的とする

【プラン件数】 11件

・食糧支援

【パントリー開催】 7回

(内3回学習応援パントリー、1回能美市母子寡婦福祉連合会パントリー)

【生活困窮者個別支援】(事業所等からの個別支援依頼含む) 260回

【団体への配布】

団体名	配付回数
能美子ども食堂ネットワーク	16回
能美市国際交流協会	13回
行政(福祉課、いきいき共生課)	19回
その他	2回
合 計	50回

⑮ 福祉サービス利用援助事業

判断能力の乏しい高齢者や障がい者等の権利を擁護することを資することを目的として、それらの方が自立した地域生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援をする。

【対 象 者】 利用対象者は判断能力が十分でない方で以下のとおり

- ・もの忘れのある高齢者(認知症高齢者)
- ・知的障がいのある方、精神に障がいのある方等

【サービスの内容】

- ・日常的な金銭管理の援助
 - * 医療費、電話料、税金などの支払い* 年金や福祉手当の受取り等
- ・大切な書類などの預かり
 - * 年金証書、不動産権利書、保険証書などの保管等
- ・日常生活に必要な手続きの援助
 - * 住民票の届出や印鑑登録などの行政手続き等
- ・福祉サービスの利用の援助
 - * サービス提供事業者を選択するための情報の提供等

【利用実績】 34件

[認知症高齢者等22件、知的障害者等3件、精神障害者等8件、その他1件]

⑩ 能美市福祉資金

市社会福祉協議会の福祉の貸付制度で、資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とする。

- 【対象者】・能美市に住所を有する低所得世帯、身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯、高齢者世帯などで、市社会福祉協議会長が必要と認め、他から資金の融資を受けることが困難な世帯
・生活保護申請者で生活保護費受給までの生活費等が必要な世帯

【貸付限度額】原則として一世帯200,000円（無利子）返済計画に基づき償還
生活保護申請者は一世帯50,000円

【利用件数】 7件

⑪ 石川県生活福祉資金

資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とした石川県社会福祉協議会の資金貸付制度。市社会福祉協議会は、市内における利用申請、償還支援、連絡調整を行う。

※貸付の条件や限度額等については、資金種類によって異なります。

- 【対象者】他からの借入が困難な収入が少ない世帯、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を持っておられる方の世帯、65歳以上の介護が必要な高齢者と共に生活している世帯

貸付種類	件数
福祉資金（福祉費、緊急小口資金）	32件
教育支援資金	4件
総合支援資金	18件
離職者支援資金	3件
臨時特例つなぎ資金	2件
合計	59件

【延相談件数】 67件

※《新型コロナウイルス特例》緊急小口資金・総合支援資金

石川県社会福祉協議会では、令和2年3月から令和4年9月まで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の費用や、失業等により生活再建までの間に必要な費用の貸付を実施し、市社会福祉協議会では相談や申請受付を行った。また、令和5年1月から償還が始まり、相談窓口の周知及び、相談支援を行った。

【対象者】

新型コロナウイルスの影響を受け、休業や失業等により収入の減少があり、日常生活が困難となっている世帯

① 申請

【申請件数】（令和4年4月1日～9日末日）

貸付種類	申請件数
緊急小口資金	21件
総合支援資金	14件
合計	35件

【延相談件数】 93件

② 償還

【延相談件数】 59件

※市関係機関、市内金融機関やスーパー等36箇所にチラシやポスターの設置

⑱ 歳末時のお見舞金の贈呈

歳末時に、あたたかい正月を迎えてもらうために、民生委員・児童委員の協力を得てお見舞金を贈呈した。また、毎月実施している「ふれあい弁当」の 1 月分のお弁当には、福梅も添え、利用者にお正月の雰囲気味わってもらった。

- 【対象者】 市内在住・出身で支援を必要とされる方々や施設入所者等（生保受給者は除く）
- 【実施期日】 12月7日（水）～31日（金）
- 【贈呈実績と総額】 296件 1,480,000円 （一律5,000円）
- 【財 源】 共同募金

⑲ 安全・安心のための各種相談

⑲-1 心配ごと相談

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員を相談員として委嘱し、市民の日常生活上の相談に応じ助言などを行う。相談員は各地区9名ずつで、計27名。

- 【相談件数】 34件
- 【実施回数】 36回（月3回・各地区1回ずつ）

- 【実施場所及び開設日】（休館日の場合、開催日の変更あり）
 - 根上地区…根上サービスセンター／毎月25日
 - 寺井地区…ふれあいプラザ／毎月5日
 - 辰口地区…辰口福祉会館／毎月15日



- ・心配ごと相談所相談員委嘱状交付式と研修会を開催した。
- 【開催日時】 1月11日（水） 13:30～15:30
- 【内 容】 講演：「相談員としての寄り添い方～聴くことの大切さ～」
講師：こころの支援員 坂尻 他津子 氏

⑲-2 弁護士無料法律相談

- 【対象者】 市民、市内に勤務の方（1名約30分の相談時間で、1日4組までとする。）
【要事前予約。相談は来所で行う】
- 【実施時間】 毎回 13時30分～15時30分
- 【利用者数】 133名
- 【実施回数】 36回（月3回）

* 開設日、開設場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑲-3 行政書士無料相談

- 【対象者】 市民、市内に勤務の方（1名約30分の相談時間で、1日4組までとする。）
【要事前予約。相談は来所で行う】
- 【実施時間】 毎回 13時30分～15時30分
- 【利用者数】 36名
- 【実施回数】 12回（月1回）

* 開設日、開催場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑳ 成年後見制度利用促進事業

認知症や障がいにより判断能力が不十分なため、ご自身で日常生活における様々な手続きや契約関係に関すること、または財産の金銭管理等が難しい方等の成年後見制度の利用の相談や手続きの支援をする。

【サービス内容】

- ・制度利用の相談、申立て手続きの支援
 - ＊制度に関する総合相談、利用に際しての書類作成の補助や手続き等の支援を行います。
- ・後見人候補者の紹介・調整
 - ＊後見活動を行う適切な候補者を一人ひとりの方の希望される支援に合わせて紹介。調整する。
- ・後見人等への活動支援
 - ＊支援における後見人からの相談や、適切な支援が行われているかを確認し、制度利用後も継続的に支援を行う。
- ・出前講座や研修会の開催　＊地域住民や関係機関等への制度の周知啓発活動や、制度の理解を深めるための研修会等を企画し、随時開催する。

【活動実績】

制度に関する相談件数 36 件

【認知症高齢者等 23 件　精神・知的障害者等 3 件　その他 10 件】

【成年後見地域連絡協議会の開催】

第 1 回地域連絡協議会　【9 月 8 日（木）】

第 2 回地域連絡協議会　【3 月 9 日（木）】

【その他】

成年後見セミナーの開催【2 月 24 日（金）35 名参加】

成年後見制度利用検討ガイドラインの作成

VI 在宅福祉サービスの提供

㉑ 福祉移送サービス(外出支援サービス)

一般の交通機関の利用が困難な方に、福祉車両による通院などの送迎サービスを行う。

【対象者】常時車いす利用者で、一般の交通機関を利用できない方

- ・重度身体障害者（身障手帳 1.2 級所持者）
- ・介護保険法に基づく要介護、要支援認定を受けた高齢者等
- ・その他、心身に何らかの障がいのあるおおむね 65 歳以上の高齢者

内 容	実 績
当該年度登録者数	22 名
延利用回数（片道を 1 回とする）	121 回
稼働実日数	58 日

②② たすけあい・ライフサポーター(訪問型サービスB)派遣事業

要支援者・基本チェックリストによる事業対象者に対し、自立支援を目的とした日常生活上の生活支援を行う。

【対 象 者】 原則一人暮らしの方で、要介護認定の要支援１・２および事業対象者で生活援助が必要とケアプラン会議で認められた方

【実 利 用 者】 ３名

【延べ派遣回数】 １１７回／年

VII 居宅介護支援事業所の運営

②③ 能美居宅介護支援事業所の運営

要介護認定者に対し、自宅で自立した生活を送るため、居宅サービス計画(ケアプラン)の作成やサービス調整の他、介護予防ケアマネジメント・要介護認定調査の業務受託を行います。

内 容	実 績 (延)
介護給付ケアプラン作成	８１２件
予防給付ケアプラン作成(受託)	３０件
要介護認定調査(受託)	２１件

VIII 老人福祉センター等の指定管理、運営

②④ 老人福祉センター白寿会館・寺井老人福祉センター「亀齢荘」の管理、運営

高齢者の憩いの場である温浴施設(老人福祉センター)を指定管理、運営した。

施 設 名	開館日数	延べ利用者数
老人福祉センター白寿会館	２５８日	１６，５０９名
寺井老人福祉センター亀齢荘	３３２日	３２，３５２名
計		４８，８６１名

IX 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧

●〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1
『ふれあいプラザ2階』

・法人事務局

TEL：58-6200 FAX：58-6250

<http://www.nomi-shakyo.jp/>

・ボランティア・コミュニティ活動支援センター

TEL：58-6200 FAX：58-6250

<http://www.nomi-shakyo.jp/vc/>

・寺井あんしん相談センター

TEL：58-6117 FAX：58-6733

・くらしサポートセンターのみ

TEL：58-6603 FAX：58-6733

・能美居宅介護支援事業所

TEL：58-6005 FAX：58-6733

QRコード



能美市社会福祉協議会
ホームページ



能美市社会福祉協議会
フェイスブック



能美市社会福祉協議会
インスタグラム



能美市ボランティア・
コミュニティ活動支援センター
ホームページ



**令和4年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集**

発行 令和5年3月

社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

TEL:(0761)58-6200

FAX:(0761)58-6250

e-mail:nomi@nomi-shakyo.jp